

Dr.諸富の元気になる! 悩み相談

悩み相談③

授業が下手なのが悩み。
教材研究など、うまくなる方法ありますか？

教材研究の前に、発声練習。 授業の基本スキルを見直して!

授業が下手と悩んでいた、ある先生から相談を受けました。実際にその先生の授業を拝見してみると、内容的には、決して悪い授業ではないのです。内容の濃い、面白いことを言っています。でも、残念なことに、声が小さすぎて後ろまで聞こえていないのです。そこで私は、マイクを持って授業してみるように提案してみました。すると、なんとそれだけで、ちゃんと生徒が集中してくれるようになったそうです。結局、その先生の授業の中身に問題があったわけではなく、音量が小さかっただけなんです。自分は授業が下手と悩んでいる先生には、教材研究が足りないのではなく、発声などの「授業の基本的なスキル」に問題があるケースが、実は多いのです。そこでまずは、発声練習！ 教室って意外に広いですよね。朝から晩まで、後ろの生徒にきちっと聞こえる声で授業をするのって、結構な技術です。発声練習が苦手だったら、マイクを持つなどの工夫をしてみる。まずは、ちゃんと最後尾の生徒にまで声が届くように自分を磨いてみてください。

高校の先生には、大学の先生のようにガンガン板書しながら授業をしていく先生もいらっしゃいます。でも、板書しながら話すと、今は黒板を写せばいいのか、話を聞いたらいいのか、わからなくなる生徒が多いんです。特に男子。結婚されている女性の方はわかるとは思いますが、ご主人が新聞読んでいるときに話しかけても、話を全然聞いていないでしょ？ それと同じです(笑)。高校生は、わからない授業にはついてこなくなってしまう。そこで、話す時間、板書する時間、生徒が書き写す時間、それらを切り分けて行うことが必要です。しかも、たいていの生徒の集中力は15分しかもたない。15分話をしたら、10分板書、次の10分は問題を解くなど、授業のメリハリをつけることが大切です。

[回答者]

諸富祥彦(もろとみよしひこ)先生：
明治大学文学部教授、臨床心理士、
教育学博士。全国の悩める教師のため
のセルフヘルピングやネットワーキング
を支援する「教師を支える会」
代表。<http://morotomi.net/>

あいえお...

